

AWSを選ぶ理由はコストだけじゃない！

創業62年、老舗化粧品会社が、
AWSを導入に踏み切った理由とは！

オープン化粧品株式会社

経営企画室

経営企画室

情報システムグループ

室長

課長

吉川喜一

松岡弘明

概要

情報システムとしてはAWSに興味はあったが、なかなかキツカケがなく、室長の思いつき？で導入検討を開始した。

検討の際、コストだけを比較してると本質を見逃してしまいがちだが、クラウドの良さとは何なのか？

創業62年 老舗化粧品会社の変革のブースターとしてAWSに期待を込めたお話をします！

もくじ

- 会社概要
- ミッション・コアバリュー
- オッペン化粧品 知名度
- 中期経営 6大基本方針
- Liant de oppen/ orAnd
- BIツール導入の意思決定
- クラウド導入の意思決定
- AWSを導入しなかった理由
- 導入前の不安と懸念事項
- AWS以外のクラウドの検討は？
- オンプレミスとAWSの比較
- システム導入スケジュール
- 導入前後でのシステム構成
- AWSのメリット
- オンプレミスとAWSの違い
- 今後の活用について
- 今後のシステムの方針

会社概要

- 会社名：オープン化粧品株式会社
- 従業員数：約260名
- 本社：大阪府吹田市岸部南2丁目17番1号
- 事業内容：化粧品・医薬部外品および健康食品の製造販売、オープン・エステティックアカデミー運営など
- 創業：1953年9月18日「龍宝堂」として化粧品の製造販売開始
- 研究所・工場：滋賀県草津市
- 資本金：3億円
- 支店：札幌、帯広、仙台、盛岡、東京、埼玉、茨城、千葉、新潟、金沢、名古屋、静岡、大阪、福山、岡山、広島、米子、福岡、熊本

ネオン広告塔



ミッション・コアバリュー

ミッション

私たちは、
一生輝き続けたいと願う
すべての人々の美と豊かさを追求し、
信頼で結ばれたコミュニティを通じて
クオリティオブライフの充実に貢献します

コアバリュー

信頼し合う
楽しむ

夢を生み出す
勇気を揮う

オッペン化粧品 知名度

知名度

100%

90%

80%

70%

60%

50%

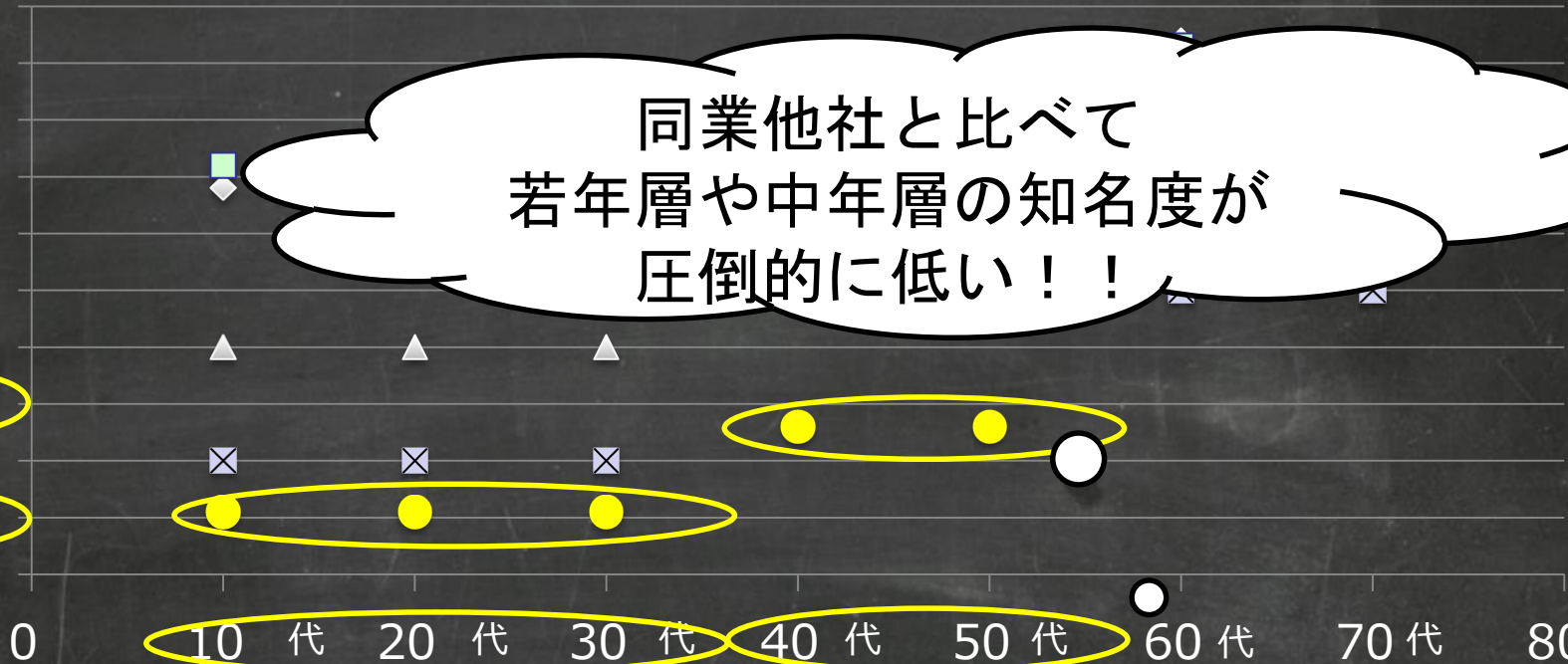
40%

30%

20%

10%

0%



◆ POLA ■ メナード ▲ ノエビア ⊠ ナリス ● オッペン

年齢層

中期経営 6大基本方針

① Liant de oppen

② orAnd

①スピードある筋肉
質の組織体作り

②ITを有効活
用した見える
化・効率化

1、本社・生産機能の抜本的改革

6、多様なコミュニケーション
チャネルの確立

2、「教育のオープン」の復活

5、高付加価値商品の開発

私たちは、
女性の活力を生み出す企業を
目指します。

3、ブランドの強化

4、既存訪販モデルの再構築

Liant de oppen(リアンドオープン)とは



orAnd (オーアンド) とは



BIツール導入の意思決定 1 / 3

まずは

- これからの「オープン」を支えるであろう、若年層や中年層に知名度を上げる
こと。

しかし、そのデータは、
販売員の販売データであって、
消費者データではない！

そこで

- 62年培ったデータ（資産）を分析すること。

とは言っ
ても

- 訪問販売の特性上、販売員は同世代の消費者に販売する。

販売員データ ≒ 消費者データ

BIツール導入の意思決定 2 / 3

そこで

- ホストコンピュータに蓄積されている販売データを分析することとした。

ホストであるがゆえ、
数千万円???

しかし

- ホストコンピュータであるため、例「従業員の販売実績」データを求めると、1週間かかること。

よって

- データウェアハウスを立てて、データを逃し、そのデータを分析する手法を検討した。

BIツール導入の意思決定 3 / 3

現時点で数千万円の決裁は、
下りないのは確実

実は

- 3年後に、このホストのリプレイスを検討している。

数百万円もあれば、
十分だろう？！

でも

- その「数千万円」は、あくまでも、過去の話。

過去にこだわらない！

チャレンジあるのみ！

クラウド導入の意思決定 1 / 2

AWS

•当然ながら、以前から様々なメディアを通じての情報収集やベンダー主催のセミナー等で各企業の活用事例を知る機会がたびたびあった。

賛成なし

•AWS導入について賛成なし、反対なし。情報不足の為、判断できない。

反対なし

セミナー

•アマゾンさん主催のAWSセミナーへ、情報システム全員で参加した。

帰り道では、AWSの話題で持ちきりだった！
実は、興味津々だった??

クラウド導入の意思決定 2 / 2

コスト

- データセンターにオンプレミス環境で構築した場合とAWSで構築した場合の5年間の総費用では、それほど大差はない。🐧

というか、実際は、少し高いかも・・・

運用面

- ①構築期間の短さ、②保守期限終了後のハード入替から解放されること、③信頼性も十分に高いこと、④処理するデータ量によってCPUやメモリ、HDDなどの資源を容易に変更することができること。

決断

- 「やってみたい」という気持ちに、後押し！

**変革の一つの象徴！
大きな改革の小さな一歩！**

AWSを導入しなかった理由

1. そもそも選択肢として上がってなかった
 - セキュリティや信頼性に関する情報がなかった
 - オンプレやクラサーバが当たり前であるという認識であった
2. システムリプレイスの際に、AWSへの移行提案がなく、導入する機会がなかった
 - 提案内容も、考え方も保守的であった。
3. ファイルサーバーなどサブシステムで活用するようなイメージであった
 - 基幹系もOK

導入前の不安と懸念事項

1. セキュリティ、信頼性は??
2. 料金体系は?? 支払い方法は??
3. 運用・サポートは??

導入前の不安と懸念事項

1. セキュリティ、信頼性は??

- 世界、日本でエンタープライズユーザーの使用事例が多数。NASAやCIAもお墨付き！
- SLAが定義されている。
- SOC2、ISO9001,ISO27001などセキュリティや品質に関する認証が豊富。
- クラウド内にプライベートネットワーク（VPC）が構築できる。

導入前の不安と懸念事項

2. 料金体系は?? 支払い方法は??

- ・ 基本的に従量課金制。（使った分だけ払う）
- ・ 支払いは、ドル建てのクレジットカード決済が基本。
しかし、決済代行をしている会社も多数あるため、従来通りの支払いも可能。

導入前の不安と懸念事項

3. 運用・サポートは??

- ・ 管理画面からサーバの稼動状況確認、各種操作（サーバ起動・停止、資源の変更、料金確認等）が可能。
- ・ サーバ障害時の自動復旧や監視によるメール通知可能。
- ・ 24時間、365日の日本人による日本語サポート可。

AWS以外のクラウドサービスは検討しなかったのか

- ・他のクラウドについても情報収集したが、AWSの情報量と導入実績（ダントツのシェア）は他を圧倒していた。
- ・新サービス提供、値下げを随時行っている。
- ・今回のシステム（BIツール）だけではなく、将来的な展望（全てのシステム資産の移行）を考えた場合、AWSが最適。

「BIツール導入にあたり、 オンプレミス、AWSどちらにメリットがあるのか？」を比較検討

コストは??

障害時の対応は??

従来通りオンプレミス??

AWS導入??

運用方法は??



オンプレミスとAWSとのコスト比較①

費用の累積

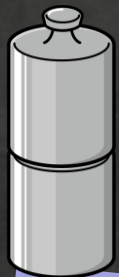


運用費用で見るとそれほど違いはなかった。

一方、初期費用で見ると、オンプレミスよりAWSのほうが高い結果となった。なぜか??

オンプレミスとAWSとのコスト比較②

初期費用内訳

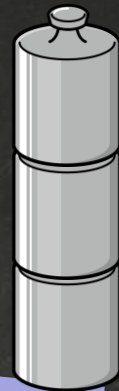


<オンプレミス>

- ・ハード、ソフト、構築費用
- ・DC設置費用

<AWS>

- ・AWS構築費用
- ・DC新規回線工事
- ・通信機器
- ・ルーティング変更



安い←

費用

→高い

→AWSと社内ネットワークを結ぶ為にインフラ環境構築(ネットワークの引き込み)が必要。それにより初期費用が高くなった。

オンプレミスとAWSとのコスト比較③

比較検討した結果、AWSに決定した理由は？

✓ ハード資産を持たなくてもよい

数年後のH/Wリプレイス費用と導入プロジェクトが不要

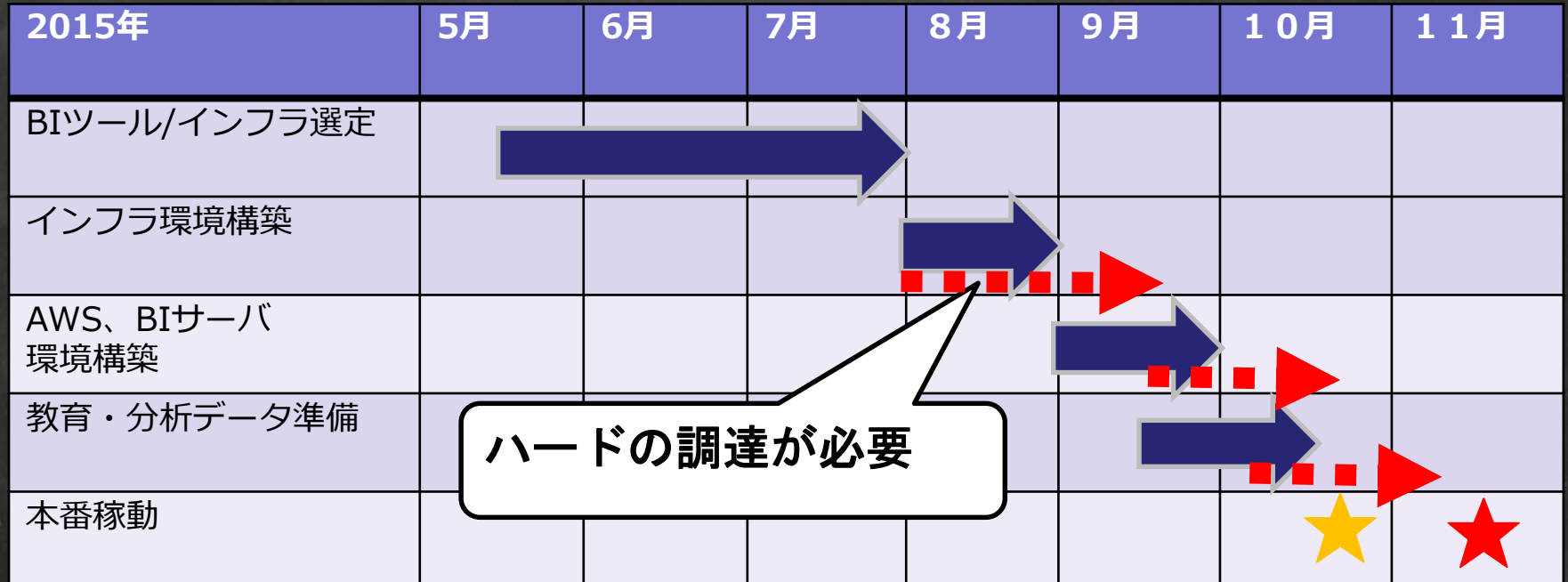
✓ ビッグデータという利用用途

今後の展開(利用用途の拡大)を考慮した場合の拡張性を担保

✓ 新しい取り組みへの挑戦！

会社の変革をシステム部門から船頭したい！

システム導入スケジュール



製品選定が当初予定より遅れたが、AWSを採用したことによるメリット(ハード調達が必要)にて遅延を吸収し、予定通りのスケジュールにて本番稼働を迎えることが可能となった。

AWS導入前のシステム構成

データセンター
(各種システム稼動)



インターネット

販売員
(ローズオーナー)

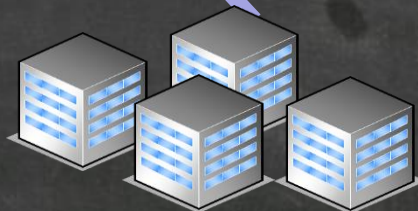
社内ネットワーク



滋賀工場



本社



支店 (21ヶ所)

子会社

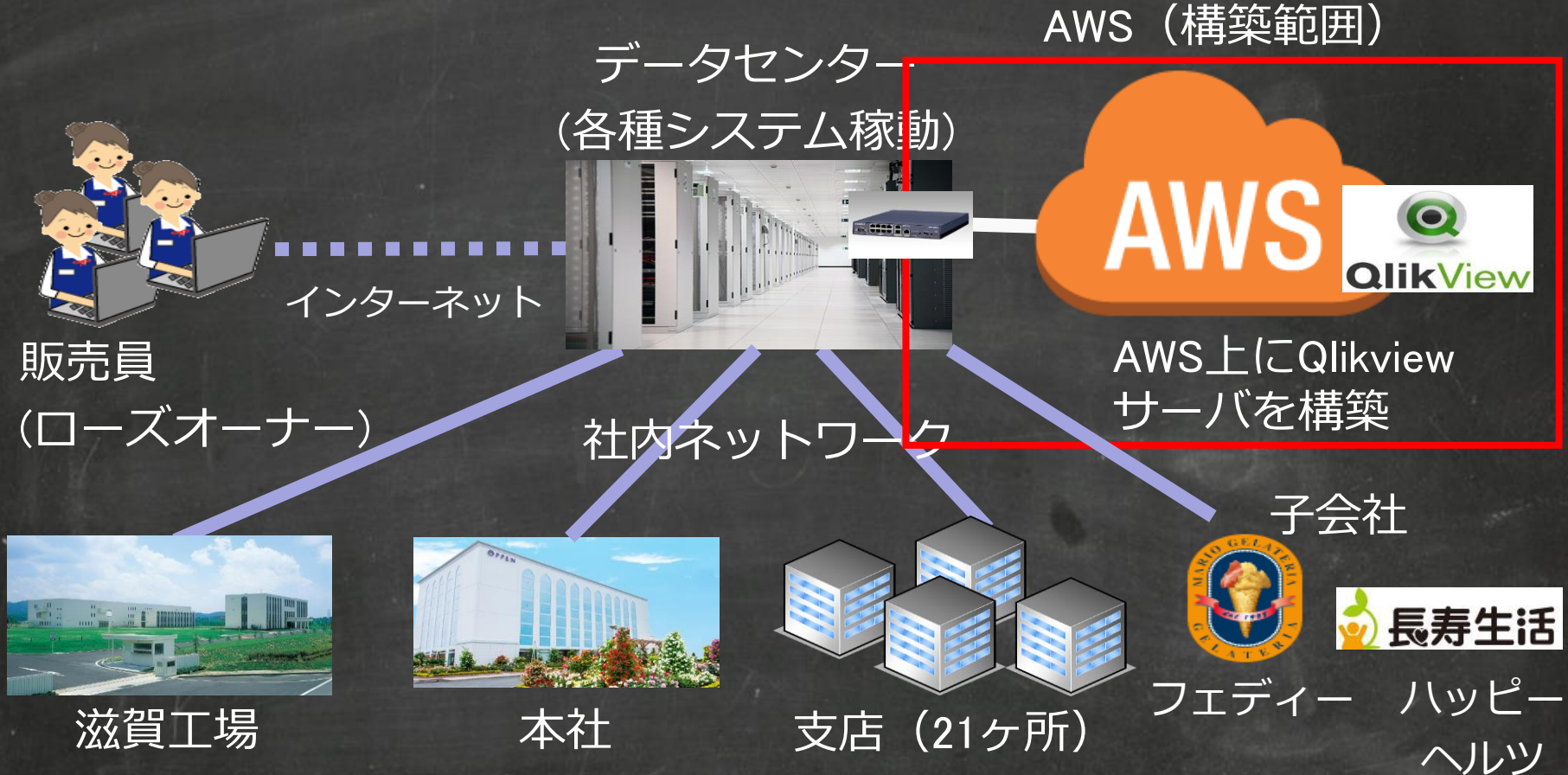


フェディー



ハッピー
ヘルツ

AWS導入後のシステム構成



AWSのメリット

- 実際に利用した分のみの支払いでOK
- 構築スピードが速い！
- 物理的な障害対応が不要！
- ハードのリプレイスから開放される！
- システムリソースを柔軟に変更できる！




オンプレミスとAWSの違い

- スモールスタートから始めて、必要な時に必要な分だけ拡張すればOK
- 「綿密なサイジング → 調達」といったプロセスは不要
「とりあえず」で使い始めて、サイジングは性能試験後でOK
- 「システムは使い続ける」 → 不要になったら削除

⇒ オンプレミスには出来ない！

今後の活用について

- AWSを利用できるインフラ環境を構築したことで、今後AWSを活用すればするほどスケールメリットが出てくると考える。
- 既存システムのリプレイス、新システム導入において、AWSは非常に有効な選択肢のひとつとして活用していく。
-  しかし、クラウド化することが目的ではなく、クラウドを使うことでの「俊敏性」や「弾力性」、そして「コスト削減」といったメリットが出るかを見極め、オンプレミス、クラウドどちらのメリットが大きいかで意思決定する事が重要。

今後のシステム方針

- 今後の動き
 - 顧客管理システム
 - 物流管理システム
 - ホストシステム などなど

すべては、
オッペンブランドを
輝かせるため！！



Thank You

オッペン化粧品株式会社

経営企画室

経営企画室

情報システムグループ

室長

課長

吉川喜一

松岡弘明